

2025 受賞おめでとうございます！

庄
食
の
内
都

普及だより



庄内総合支庁産業経済部 農業技術普及課／同 产地研究室

〒999-7601 鶴岡市藤島字山ノ前51
TEL:0235(64)2103

〒998-0112 酒田市浜中字八窪1
TEL:0234(91)1250



「山形えだまめ食味向上プログラム」現地説明会
山形県産えだまめの更なるブランド力向上が
求められています。そこで、優良事例の波及と
PRを目的に、良食味えだまめ生産に取り組む
組織の圃場視察と試食会を行いました。
(8月26日開催)

新しい年に「新たな道」を切り開きましょう

次長(兼)課長 高梨 良子

明けましておめでとうございます。

昨年は、一昨年の記録的な大雨とは対照的に高温・干ばつの7月となりました。皆様の努力により被害が抑えられたとはいえ、地域によっては厳しい状況となつたことに心よりお見舞いを申し上げます。

今年は、「丙午(ひのえうま)」の年です。丙も午も火の要素を持つとされており、これらが重なる「丙午」は、「情熱と行動力で道を切り開く」といった縁起の良さが表されるとされています。近年は10年に1度のような極端な気象が頻発しています。昨年の高温・干ばつでは大変な思いをされた方が多かったと思いますが、対応策は確実に積み上げられていると思います。令和7年産の米は収量・品質ともに良好でありますし、えだまめでは適切なかん水により収量を維持しました。これも基本技術の徹底に加えて「やまがた米づくりナビ(旧称:スマートつや姫)」の活用や地下かんがいなど新たなツールの導入効果だと考えています。

さて、「農業改良普及センター」という名前をご存じの方はどのくらいいらっしゃるでしょうか。普及センターから普及課に名称を改めてから25年になりました。名前は変わりましたが、農業者の皆様を支援していくという姿勢は変わりません。新しい年が、皆様にとって「新たな道を切り開く年」になるように力を尽くしてまいります。

大高根農場記念 山形県農業賞

佐藤 茂一さん(鶴岡市)



平成16年に(有)ソイビーンを設立し、遊休農地の活用や労働力の確保、作付面積の拡大により経営の安定化を図るなど地域農業のリーダーとして御活躍されました。

また、平成28年からは鶴岡市農業協同組合の組合長として優れた指導力を發揮し、地域農業の振興・発展に多大な貢献をされました。

山形県ベストアグリ賞 県知事賞

農事組合法人
庄内協同ファーム(鶴岡市)



庄内協同ファームは鶴岡市を活動拠点とする平成元年に設立された法人です。「食は、農とひとつづき」という理念の下に、組合員が環境に配慮して生産した米や、えだまめの販売、もち加工などをしています。設立当初から生協との産直を行い、顔の見える消費者交流に取り組んでいます。

やまがたフラワー フェスティバル2025 農林水産省農産局長賞

鈴木 茂也さん(鶴岡市)



10月17日に行われた花き品評会において、次点となる農産局長賞を受賞されました。出品数260点、トルコギキョウ46点の中でも一際目立つ作品で、昨夏の極端な暑さの中でも草丈、花数、花の大きさを確保したことが高く評価されました。

今年度、新たに認定された農業士の方々を紹介します

山形県指導農業士



工藤 忠則さん
(鶴岡市)
水稻



マッケーナ 美津さん
(三川町)
野菜



石川 繁一さん
(庄内町)
水稻



松浦 史和さん
(庄内町)
水稻



佐藤 雄紀さん
(鶴岡市)
水稻

2026米づくりフォーラムin庄内

日 時:令和8年1月9日(金) 13時30分~16時00分
場 所:酒田市公益研修センター 公益ホール
(東北公益文科大学酒田キャンパス内)

内 容: 1 庄内地域食味コンクールの表彰
2 講演①「東北地域におけるスマート農業の推進について」
東北農政局 生産部 環境・技術課 吉田大作 氏
講演②「スマート農業を活用した生産性向上の取組み」
株式会社相川ファーム 代表取締役 菅忠一郎 氏
3 新品種「ゆきまんてん」の試食 ほか

対象者: 米生産者、関係機関、団体等

定 員: 200人

問合せ: やまがた温暖化対応米づくり日本一運動庄内地域本部事務局
(担当:当課 菅原)

開催案内

Event information

庄内砂丘メロン研修大会2026

日 時:令和8年2月4日(水) 13時30分~15時30分
場 所:三川町子育て交流施設テオトル 多目的ホール
内 容: 1 茨城県におけるメロンつる割病の防除対策について
(令和7年12月の現地視察の報告)
2 令和7年度土壤病害実証圃における実証結果について
3 県の試験研究に係る最新状況報告について

対象者: メロン生産者、関係機関、団体等

定 員: 100人

問合せ: 庄内砂丘メロン産地強化プロジェクト会議事務局
(担当:当課 本田)

農作業中の事故防止を徹底しましょう。

- 事故防止対策の情報確認
- 温かい服装で作業し、日没後の作業は控える
- 機械の点検・整備! 作業中断時はエンジン停止!
- 複数人での作業、もしくは作業の場所・時間を家族などに伝える



農薬は適正に使用しましょう!

☆農薬のラベルは必ずよく読み、定められた使用方法で!

☆生産履歴の記帳、農薬飛散の防止、防除機具の洗浄を徹底!

普及だより第50号 特別企画！

農業技術普及課と地域農業の25年間の歩み

平成13年から年2回発行してきた「普及だより」は、おかげさまで第50号の発行を迎えました。
特別企画として25年間の歩みを振り返ります。



2025 普及活動トピックス

「やまがた米づくりナビ」による生育診断技術の普及

リモートセンシング技術を活用した「やまがた米づくりナビ(旧称:スマートつや姫)」の機能をフル活用した現場指導を強化しています。圃場巡回等では多くの生産者、JA指導員から好評でした。この技術を活用して安定生産につながった事例が積み上がっており、事例集として公表予定です。

庄内地域全体でこの技術を普及し、安定生産と所得向上を目指します。



「やまがた米づくりナビ」を活用した穗肥診断(7月4日 鶴岡市)

気候変動に負けないえだまめ産地に向けた支援

良食味えだまめの産地である庄内地域では、近年、大雨や高温少雨により安定した生産が難しくなっています。そこで当課では、気候変動に対応できる安定生産技術の実証や栽培指導といった支援を行っています。特に昨年の高温少雨に対しては、かん水技術に関する実証や緊急情報の発信を行い、さらに農協とも連携して研修会を行うことで、安定生産の支援を行いました。



高温少雨に対する地下かんがいの実証(7月9日 鶴岡市)

伝統の‘技’を学ぶ「手習い塾」を開催

庄内地域を代表する伝統食品「黄色い笹巻」。直売所では根強い人気の加工品です。当課では、地域のベテランの巻き手から技術を学び、新しいビジネスにつなげようと、黄色い笹巻をテーマとした「手習い塾」を開催しました。参加者は、講師の巻くスピードに感心しながら、これから農業経営に取り入れたいと、熱心に質問していました。



「手習い塾(黄色い笹巻)」(8月29日 当課)

新規就農者の就農定着を支援

庄内地域における新規就農者数は、毎年100人前後で推移しており、円滑な就農と早期定着が課題となっています。当課では、栽培・経営技術を体系的に学習できる「農業経営実践講座」や、関係機関と連携した新規就農者の圃場巡回の実施のほか、仲間づくり促進のための研修会を開催しました。



関係機関と連携した新規就農者の圃場巡回(6月17日 鶴岡市)